

インテグルーフ
屋根葺材一体型ソーラーシステム IntegRoofは
美しく機能性に優れています。

01 / スッキリして
とても美しい屋根デザイン

屋根全面がフラットなソーラーパネルになり、従来の屋根に比べて洗練された美しいデザインを実現します。



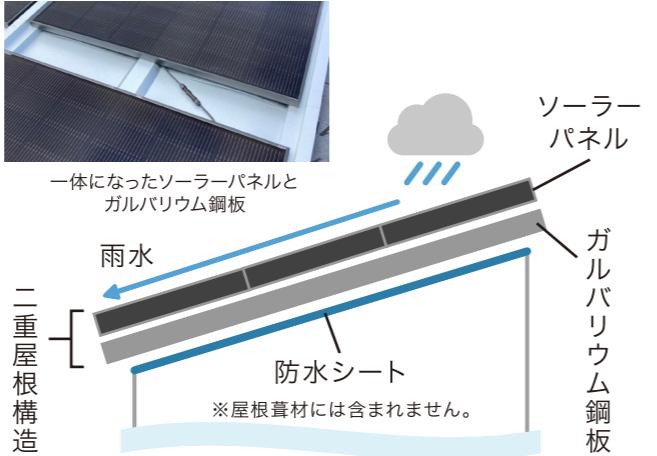
屋根葺材一体型ソーラー IntegRoof



従来の屋根置き型ソーラー

02 / 二重屋根構造で
安心の雨漏れ防止

ソーラーパネルとガルバリウム鋼板を工場で一体化。二重の屋根構造と下部の防水層で雨漏れを徹底的に防ぎます。



03 / 屋根葺き工事が
不要でコストダウン

従来の屋根置き型は、ソーラー下部の隠れた部分の葺材屋根仕上げ工事も必要のためコストがかかっていました。この屋根一体型では屋根葺き工事とソーラー工事が同時にできるので、コストの削減ができます。



※従来の屋根置き型ソーラー

04 / スピーディで
スムーズな施工

工場であらかじめ組み立てられたパネルを敷設し、プレ加工された役物部材を取付けていくだけでのシンプルでスピーディな施工です。



見積り依頼・お問合せ先

株式会社 SIソーラー 屋根葺材一体型ソーラー担当

TEL 086-270-9080 FAX 03-6661-1050

メールによる
お問合せは
QRを読み取って
ください



A12509IRL

屋根葺材一体型ソーラーシステム
インテグルーフ
IntegRoof

インテグルーフ
IntegRoofは、屋根材(ガルバリウム鋼板)とソーラーパネルを一体化することで、美しい外観の実現だけでなく、防水性能の強化、コスト削減、施工の簡略化など、多くのメリットを提供します。

特許出願中

インテグルーフ
IntegRoofの動画はこちらのQRコードをチェック



インテグルーフ
IntegRoof 4つの特徴

美しい
屋根デザイン
☆☆

雨漏れ
防止構造
☂

コストダウン
¥

スピーディな
施工
🔧

SISOLAR

屋根葺材一体型ソーラーシステム IntegRoof 注意事項

インテグループ

インテグループ

IntegRoof の導入について、建物等の条件があります。

導入いただける建物の条件

条件
1

木造住宅(木造軸組構法または枠組壁構法)であること。

屋根部材は専用ビスで固定するため、木造屋根構造に対応しています。

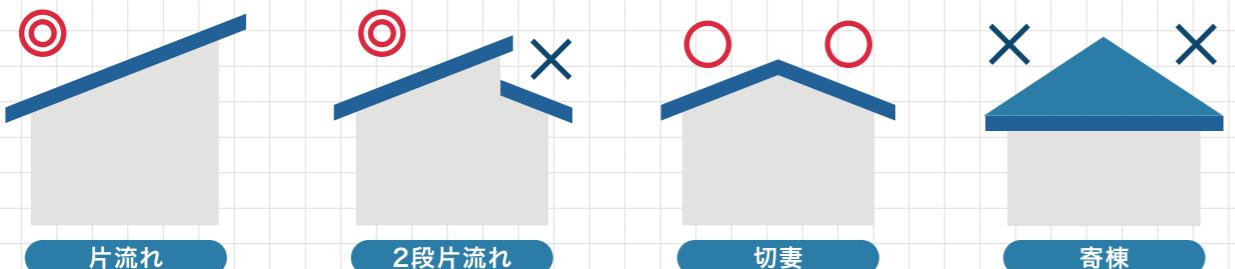
垂木(たるき)材の寸法や割付ピッチに指定があります。

※詳細については「施工要領書」をご参照ください。

条件
2

片流れ屋根または切妻屋根であること。

専用部材の割付は片流れ屋根が最も適しています。



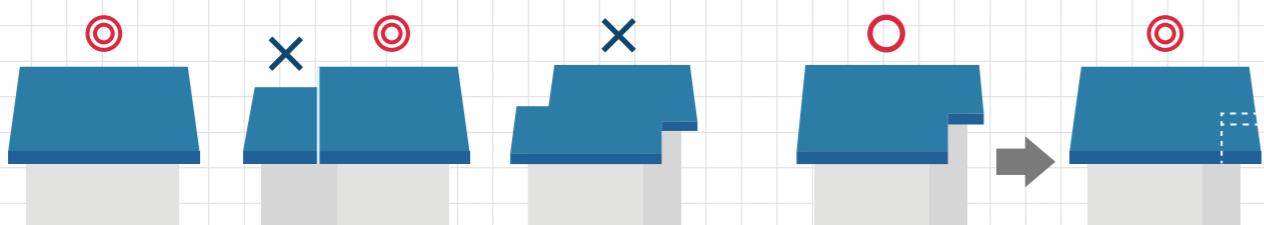
ソーラー搭載のある屋根面がある切妻の場合は、別紙「切妻対応各図」を参照ください。

※特寸部材などで対応可能な屋根形状もあります。別途、株式会社ソーラー 屋根葺材一体型ソーラー担当者までお問合せ下さい。

条件
3

屋根面が段差のない正方形または長方形であること。

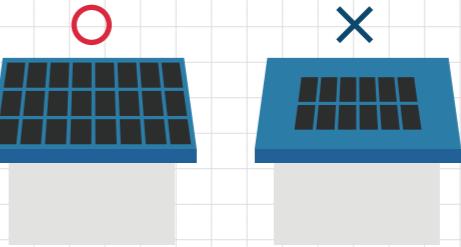
正方形または長方形である屋根面に対応しています。棟違いの段屋根や欠けのある屋根面には対応ができません。軒の出などを調整して立面デザインの設計変更をお願いします。また、建物の大きさに合わせた最適な軒の出寸法の設定もあります。



条件
4

屋根全面がソーラーパネルとなる最大搭載量であること。

屋根面に搭載可能最大数のパネルを設置します。最大数搭載の余白部分は専用のダミーパネルを使用します。



これらの条件を満たすよう調整をしてください。



よくあるご質問

インテグループ
IntegRoofについてお客様からよくいただくご質問とその回答をご紹介します。

Q. なぜモジュールは縦向き配列なのですか？

A. モジュールの固定力を最大限に高めるため、木造下地とビスの位置を合わせ、しっかりと固定できるように設計されています。また、雨水の流れを良くし、継手を減らすことことで洗浄効果を高める目的もあります。十分な発電容量を確保できます。

※横向き配列タイプは2025年9月現在開発段階です。

Q. 片流れと切妻以外の屋根形状は対応できませんか？

A. 対応は可能ですが、部材の一部がオーダー製作となり、コスト増や施工の複雑化、製作時間の増加が生じます。容量の多いソーラー搭載では片流れ屋根が一般的なため、片流れ設計が最も効率的でメリットが大きいです。

Q. 全面搭載するほど容量が必要ない場合はどうなりますか？

A. IntegRoofは、一般屋根葺き材と同一屋根面での混合設置はできません。モジュール搭載の余白部分にはダミーパネルを使用します。ダミーパネルは発電しませんが費用がかかるため、発電メリットを考慮すると最大容量での搭載をお勧めします。